

# 第5章 文化財の保存・活用に関する方針・措置

## 1 文化財の保存・活用に関する現状と課題

### 1-1 これまでの取り組み・現状と課題

文化財の類型ごと、または現在の与謝野町の文化財行政の事務事業分類ごとに、それぞれの現状と課題を示します。

**建造物** 旧町時代から神社・寺院建築を始めてとして調査がされてきました。調査の最初期は大正から昭和初期の自治体史編纂事業に始まります。これらは地域にゆかりのある知識人の手によって作成されています。その後、昭和50年代には京都府による調査に始まり、それに続いて各自治体単位で指定文化財を視野にいれた調査が実施され、文化財指定等を行っています。まだまだ調査不足ですので、調査を継続し、物件によっては指定等を進めていきます。また、神社・寺院建築の場合は、所有者・管理者の永続性が明確なものが多いため、現在のところでは破却された物件（神宮寺の火災による消失は除く）はありませんが、少子高齢化は氏子・檀家の減少と同一ですので、今後は神社・寺院の運営資金、ひいては指定等文化財の維持管理に影響が生じることが予想されます。

民家建築では、京都府の近代和風建築及び伝統的建造物群保存地区の調査によって代表的な民家建築の調査がされています。旧尾藤家住宅は、ちりめん街道を代表する建物群として整備公開されています。その魅力を磨き上げていくことが重要です。

京都府の近代和風建築調査事業で調査された民家建築では、現在のところ、破却された物件はありませんが、少子高齢化・過疎化の影響が生じることが予想されます。

与謝野町指定建造物の近世民家「いろいろの館」は、草葺き屋根構造ですが、移築後30年が経過し、屋根の劣化が顕著で全葺き替えが必要な状態となっています。与謝野町所有物件で古墳公園内にありますが、積極的な利活用が求められます。また、同じく草葺き屋根の近世民家の与謝野町指定建造物「鞭家住宅」は長期無住の状態で損傷が進んでおり、大規模修理が必要な状態です。個人所有物件でもあり、今後の利用が定まらないことと修理資金にも課題があります。総じて、近世の草葺き民家建築は修理の必要な状態にあります。

特殊な建造物としては、旧加悦町役場庁舎や旧加悦鉄道加悦駅舎を文化財指定し、保存・活用しています。旧加悦町役場庁舎は耐震工事を実施し、現在、観光案内・観光情報発信施設として公開活用されています。また、旧加悦鉄道加悦駅舎は廃線となった加悦鉄道史を紹介する「加悦鉄道資料館」として展示・公開活用されています。情報発信力を高めていくことが重要です。いずれも指定管理者制度を利用して運営しています。

#### 【課題】

- ・指定等された物件も多いですが、未指定物件の価値付けが不足しています。
- ・民間所有建造物は、空き家と少子高齢化・過疎化による破却の危険性があります。
- ・近世の草葺き民家建築は修理の必要な状態にあります。修理資金が課題です。

- ・民間所有建造物は、防災対策の未整備なものが目立ちます。インフラ整備だけでなく、所有者の日常的な防災意識の向上が求められます。
- ・歴史的象徴性・拠点性のある物件では整備・公開が進んでいるものもありますが、さらなる情報発信力・展示解説力・集客力・利活用案発想力（ユニークベニュー含む）・実行達成力などの継続した磨き上げが求められます。
- ・調査・研究の及んでいないものがある。

**美術工芸品（絵画・彫刻・工芸品）** 寺院所有の仏教系の物件が主体を占めます。代表的な物件では資料調査の実施された物件が多いです。また、その多くが現役品であるため、一般公開を推奨する物件ではないものも多いと考えています。

国重要文化財「木造女神坐像」は収蔵庫の温湿度調整の不備でカビが発生して以来、文化庁協議を経て、その後、定期的な収蔵環境維持管理（乾燥剤の定期交換等）を実施しています。これは長期間にわたり継続していく必要があり、地元管理者の自立性が求められます。

また、神社の石灯籠は覆屋がなく、保存環境の改善が求められます。また、主に山際・山中に大量の中世石塔類があることがわかり、かなりの物件を台帳化することができました。墓系の石塔類が多いので、廃棄されることは少ないと思いますが、これらの歴史的な位置づけができていません。石塔類には宮津藩関係のものもあり、類例の少ない物件です。

文化財指定等がされている物件に関しては、毎年、防火点検として消防署主催で町と連携して現地点検を実施しています。消火器の設置はもとより、自動火災報知機の設置が望ましいですが、町の補助制度があるとはいえ、経費の面で進んでいません。

防火対策に関しては、日常的な視点が重要となりますので、文化庁や京都府作成のチェックシートを配布していますが、実効性が求められます。また、災害発生時の搬出シミュレーションも求められます。

個人所有の絵画には与謝蕪村や富岡鉄斎の大作もあり、公開活用を図りたいところですが、個人資産であり、かつ、展示場所等が限定される状態です。また、常設することができないため、レプリカの制作が求められます。

氏神祭りの屋台懸装品類（幕類）は概ね現状把握ができています。新しい分野ですが、今後の指定等を検討していきます。

#### 【課題】

- ・悉皆調査の及んでいないものがあります。
- ・国重要文化財「木造女神坐像」は、定期的な収蔵環境維持管理（乾燥剤の定期交換）を長期間にわたり継続実施していく必要がありますが、地元管理者の自立性が求められます。
- ・中世石塔類の悉皆的な調査ができましたが、歴史的な位置づけができていません。
- ・指定文化財の石灯籠には保存環境の改善が求められます。
- ・消防署と連携した防火査察を毎年実施していますが、日常的な防災意識・チェックの継続性が求められます。
- ・災害発生時の搬出シミュレーションの作成試行が求められます。
- ・絵画などの美術工芸品の一般公開のための公開施設の整備が求められます。

- ・氏神祭りの屋台懸装品の悉皆調査ができましたが、学術的な価値付けができておらず、指定物件がありません。
- ・宮津藩関係石塔など特徴ある物件の歴史的位置づけができていません。

**書跡・典籍** 俳額や鎌倉神社の大般若経を町指定しています。俳額は江山文庫で展示し、江戸時代の庶民文化を伝えています。未指定の俳額がありますので、価値付けの検討が必要です。書跡では未指定品の中には室町時代のものもあります。状態の厳しいものがあり、修理の必要性を感じます。

**【課題】**

- ・未指定俳額の学術的な価値付けができていません。
- ・民間所有の中世の書跡などには修理の必要な物件がみられます。

**古文書** 大方の所在確認調査はできていますが、悉皆調査レベルには及んでいません。また、古文書の崩し字読解のできる人材がいないため、歴史資料として活かさきれていません。

**【課題】**

- ・一定の調査はできましたが、まだまだ悉皆調査が不足しています。
- ・古文書の崩し字読解ができる専門人材がいないため、活かさきれていません。

**歴史資料** 国指定歴史資料「123号機関車」と与謝野町指定歴史資料「旧加悦鉄道車両群」（10車両）は民間会社の所有物件で、加悦SL広場で保管・公開展示されてきましたが、令和2年3月末で閉園となり、危惧されます。大型品であるため対応に苦慮するものです。

地籍図・絵図に関しては悉皆的な調査ができましたが、学術的な価値付けができていないため、まだ指定等がありません。また、地籍図・絵図は、住民にとっては自分たちの足元や景色を描いたものですので、身近に感じることができる資料としての期待できますが、公開活用が進んでいません。

**【課題】**

- ・展示公開施設が閉園となった国指定歴史資料「123号機関車」と与謝野町指定歴史資料「旧加悦鉄道車両群」（10車両）の今後の維持管理が危惧されます。民間会社の所有で、一つ一つが大型品であり、対応が苦慮されます。
- ・地籍図等の悉皆的な調査はできましたが、学術的な価値付けができていないため、また指定等がありません。
- ・地籍図等は住民にとって身近な情報を示す資料ですが、活用が進んでいません。

**考古資料** 古墳公園はにわ資料館は町内出土品の常設展示をしていますが、展示設備がオープン式のものが多いため、限られた展示に留まらざるを得ないものとなっています。また、国重要文化財の大風呂南1号墓出土品のうち、ガラス釧は注目度の高い品で、定期的に一般公開していますが、公開施設の整備が十分でないため、限定的な公開に留まっています。また、与謝野町外施設への貸出公開基準が厳しいため、より限定的な公開となっています。

その他の弥生墓・古墳などの出土品の価値付けができておらず、未指定の物件が多くあります。また、増え続ける出土品の保管場所も問題です。学術目的の資料調査にも対応しており、学術研究にも貢献しています。

#### 【課題】

- ・はにわ資料館で展示活用していますが、オープン式の展示施設が多いため、展示品が限定されています。
- ・国重要文化財大風呂南1号墓のガラス釧の公開期日が限定的になっています。
- ・出土品の学術的な価値付けができていないため、指定等が進んでいません。
- ・増え続ける出土品の保管場所の確保が必要です。

**無形文化財** 住民アンケートでは「食文化」への関心はトップ3に入る注目度の高いものでした。食べるという行為は生命とそのものであり、積極的な取り組みが求められます。

文化財指定等された物件はありませんので、生活文化の悉皆的な調査の実施が不足しています。また、現在わかっている地域の特徴のある食文化（丹後ばらずし・与謝野べうどん・テッポウ）への調査を深化させる必要があります。

和装の絹織物の生地の国内最大の生産地である当地としては、手織りの織物技術者を無形文化財保持者とすることが出来るか否かの検討も必要です。

#### 【課題】

- ・食文化の調査の深化が求められます。
- ・観光・商工業事業者と連携した取り組みが求められます。
- ・絹織物手織り職人を無形文化財保持者とできるか否かの基準の明確化が求められます。

**有形民俗文化財** 日本海海運の北前船交易の船絵馬（京都府暫定登録品）があります。当地の海商活動を伝える重要な物件ですが、絵の多くが剥落しており、メッセージ性が弱い状態です。公開活用するためには保存処理が必要な状態で、復元レプリカの作成も求められます。

氏神祭りの祭礼屋台61物件の悉皆調査と並行して代表的な物件の詳細調査が求められます。現役品が多いため、指定可能かの検討も必要です。

民具一般は、三河内郷土資料室で公開展示し、学校授業での利用に寄与していますが、展示スペースに比べて展示品が多いため、展示リニューアルが必要な状態です。また、リニューアルに関しては、三河内区の特質を勘案し、氏神祭りを中核とした構成に民具を組み合わせるスタイルも検討課題です。また、展示品以外の大量の民具の保管状況の改善が求められます。

#### 【課題】

- ・北前船交易の船絵馬の公開活用のために、保存処理とレプリカ作成が求められます。
- ・祭り屋台の指定等のための詳細調査の実施が求められます。
- ・民具の公開場所と手法の再検討が求められます。
- ・民具の保管状況の改善が求められます。

**無形民俗文化財** 住民アンケートでは「祭り」はトップ3に入る関心の高いものでした。春の

例大祭では「祭り町」化するほどで、地域住民の注目度の高いものです。積極的な取り組みが求められます。

氏神祭りで行われる民俗芸能では、指定等が5件で、未指定が24件となっています。春の例大祭期間は町中が祭り期間となります。概要調査はできていますが、詳細調査の実施には粗密があります。調査順位をつけて実施していくことが求められます。また、民俗芸能は少子高齢化・過疎化の影響を強く受ける分野ですので、継続性が危惧されます。また、地域の祭りを紹介する情報発信も求められます。

#### 【課題】

- ・氏神祭りの民俗芸能の詳細調査の実施が求められます。
- ・少子高齢化・過疎化による氏神祭りの継続性が危惧され、対応が求められます。
- ・祭りの情報発信（施設整備を含む）が求められます。

**遺跡** 埋蔵文化財包蔵地（遺跡）の全町域の分布調査は実施済で、一定以上の水準にあります。遺跡の保存のためには、できるだけ早期に開発事業計画の情報を入手することが不可欠です。文化財保護法における土木工事の扱いに関して、行政内部の関係部署への周知を続ける必要があります。また、遺跡発掘調査の体制が稀薄ですので文化財部署の人員整備も求められます。

また、埋蔵文化財の保存のためには、町指定等を行っていくことが求められ、最終的には国史跡指定を目指す必要があります。現在、地藏山遺跡の保存のための調査事業を実施中です。ガラス釧で有名な大風呂呂南墳墓群は、1号墓出土品は国重要文化財指定を受けていますが、現地は未指定です。現地の遺存状態は良好とはいえない状態ですが、現状保存が求められます。

また、今までの発掘調査成果を現地で示すことができていないものが多いので、現地での説明板の設置が求められます。

#### 【課題】

- ・開発事業計画情報を早期に入手するためシステムの整備が求められます。
- ・発掘調査体制の人員整備が求められます。
- ・国史跡指定を目指すための保存目的の発掘調査の実施が求められます。

**名勝地** 京都府指定名勝の西光寺庭園と常栖寺庭園は寺院管理物件であり丁寧な維持管理がなされています。未指定物件のうち、大江山連峰と阿蘇海は非常に広い範囲ですので、名勝地ではありますが、景観的でもあります。景観行政部署・住環境行政部署・農林水産行政部署と連動した取り組みが求められます。特に、大江山連峰は福知山市が文化庁の委託を受けて名勝調査を実施していますので、連携した取り組みが必要です。未指定物件の鞭家庭園と雲岩庵庭園はほぼ放置状態で、鞭家住宅・雲岩庵の整備と連動した取り組みが求められますが、まずは学術調査が必要です。

#### 【課題】

- ・「大江山連峰」「阿蘇海」の名勝や景観としての価値付けの検討が求められます。
- ・「大江山連峰」「阿蘇海」を大切にしていくために、景観行政部署・住環境行政部署・農林水産行政部署との連携が求められます。

**天然記念物** 京都府指定天然記念物「滝のツバキ」は長寿な巨木であるため、継続した診断と樹勢整備業務が求められます。また、生活圏にある巨木は目につき易く住民の意識もいき易い物件です。里山的な森の生態を紹介する取り組みも関心の高いものと思われるので、取り組みが求められます。

加悦谷景観を特徴づける大江山連峰の山並みは、その岩体（カンラン岩帯・蛇紋岩帯）に起因したものです。これらの理解を促すために、暮らしの成り立ちを自然環境や大地からの視点でみるジオパーク的な観点での取り組みも求められます。

野田川のサケの遡上は、自然環境が目に見える形で表現されるだけに地域住民の関心の高いものです。きれいな野田川は、大江山など山林・農地・住宅など暮らしに直結した成果ですし、阿蘇海の浄化につながります。住環境行政部署・農林水産行政部署・景観行政部署・水道行政部署・学校教育行政部署とも連携した取り組みが求められます。

動植物の調査はあまり進んでいませんので、一層の取り組みが求められます。

#### 【課題】

- ・生活圏にある巨木・里山的森林への取り組みが求められます。
- ・暮らしの成り立ちを自然環境や大地からの視点でみるジオパーク的な観点での取り組みが求められます。
- ・野田川のサケの遡上は地域住民の関心の高く、住環境行政部署・農林水産行政部署・景観行政部署・水道行政部署・学校教育行政部署とも連携した取り組みが求められます。
- ・動植物の調査は進んでいませんので、一層の取り組みが求められます。

**文化的景観** 住民アンケートでは景観はトップ3に入り、地域住民にとって身近で生活の一部であるがゆえに、関心の高いものです。京都府調査時の与謝野町内の文化的景観候補は、与謝峠からの加悦谷の田園と町並みの景観です。与謝野町を紹介するときに与謝峠（大江山）からのみた加悦谷景観の写真がよく使われます。近年では、ドローンを使って加悦谷の中央から背後に大江山を望んだ空からしか見えない写真がよく使われます。

#### 【課題】

- ・景観はその地域を印象づけるものですが、広範囲に及ぶため、与謝野町では指定等は進められていません。しかし、地域住民には生活の一部として関心の高いものですので、景観行政部署・住環境行政部署・農林水産行政部署とも連動した取り組みが求められます。
- ・広範囲を対象とするため、日常生活圏を広く取り込むことにもなりますので、関係住民や開発業者の深い理解が不可欠となります。
- ・文化的景観は、どの範囲までを文化財的・歴史文化的なものとするかという判断基準が不明確です。基準の明確化が求められます。

**伝統的建造物群保存地区** 国選定重要伝統的建造物群保存地区加悦伝統的建造物群保存地区（通称「ちりめん街道」）の1件があります。地区内には、旧尾藤家住宅や旧加悦町役場庁舎があります。

文化庁の補助制度を利用して、毎年 3～5 件前後の物件の修理修景事業を進めています。専門性の高い分野を一般事務員で担当しているため、不安定な事務遂行となっていますので、専門職の配置が求められます。

旧尾藤家住宅は上記のとおり当地域を代表する民家建築として整備公開活用しています。管理運営は指定管理者制度で運営しています。蔵を改修した展示施設では四季的に企画展を実施されています。今後の国文化財指定を目指しています。旧加悦町役場庁舎は、耐震工事が実施され、上記のとおり、観光情報発信拠点として公開活用されています。その他にも重伝建地区内には、多くの民家建築と神社・寺院建築があり、ます。また、立命館大学と連携して主に地区住民を対象として毎年防災セミナーを実施し、日常的な防災の定着に努めています。また、消火器の設置事業を進めています。なお、防災インフラの整備に関しては経費の面で目途が立たない状態です。

毎年、ちりめん街道イベントを開催し、町内外の来訪者で賑わいますが、この地区は基本的に一般居住地域ですので、旅館 1 件以外には来訪者を対象とした店舗の営業が見られない状態です。

#### 【課題】

- ・修理修景事業を着実に進めており、今後も継続した取り組みが求められます。
- ・修理修景事業の事務処理を確実・安定的に遂行していくための専門職の整備が求められます。
- ・地区内の多くが民間所有建造物ですので、少子高齢化による破却の危険性があります。
- ・地区内の多くが民間所有建造物ですので、少子高齢化による空き家の増加が懸念されていますが、有効な対策の実施には至っていません。対策は急務です。
- ・空き家バンク制度を設置していますが、登録者数が増えていません。
- ・民間所有建造物では、所有者の日常的な防災意識の定着・向上のための防災意識啓発事業の継続的な取り組みが求められます。
- ・防災担当部署との密接な連携意識が求められます。
- ・歴史的町並みとしての拠点性を活かしたイベントが実施されていますが、象徴性・拠点性のある物件では、さらなる情報発信力・展示解説力・集客力・利活用案発想力（ユニークベニュー含む）・実行達成力などの向上が求められます。
- ・ちりめん街道の国選定時のイメージ標語「機音響く」と明記されていますが、現状では限られた場所でしか聞きすることができないため、その整備が求められます。
- ・ちりめん街道内における建物以外の電柱や道路などの景観整備が求められます。
- ・ちりめん街道へのアクセス手段は公共交通手段が未整備のため、自動車が主体となっています。アクセス性の向上が求められます。
- ・ちりめん街道にアクセスする誘導サインの充実が求められます。
- ・ちりめん街道へのアクセス道路の整備が求められます。

**文化財環境保全地区** 天満神社本殿など京都府指定等文化財に限って制度化されています。これらは管理者による維持管理がなされ、指定等建造物の保護に役立っていると思われます。与

謝野町にはこの制度がないので、今後の検討課題です。

**【課題】**

- ・与謝野町には同様の制度がないため、今後の要検討です。

**その他の文化財** 身近な「地名」ですが、その成り立ちには地名成立時の人々の生活情報が込められていることが多いものです。その多くは由来不明のものです。日常生活に身近に存在する文化財としての取り組みが求められます。

旧神社跡などの「信仰伝承地」や伝説伝承文学など「伝説伝承文学地」を文化財として認識するか否かは判断の難しいところです。これらの地点で関連する遺跡が確認される場所は遺跡として扱うことができますが、多くの場合は、そういった情報のない状態です。しかし、住民への浸透度の高いものが多くみられますので、適切な活用が求められます。

**【課題】**

- ・「地名」の文化財的な価値付けの検討が求められます。
- ・「信仰伝承地」「伝説伝承文学地」の文化財的な価値付けの検討が求められます。

**保存継承／文化財指定制度** 文化財の保存と継承を進めるために与謝野町文化財保護条例において与謝野町指定等文化財制度が定められています。これに基づき与謝野町指定等を行っています。指定等のためには調査・研究をして学術的価値を明確にするものですが、まだまだ未調査で学術的価値の不明確な物件が多く存在しますので、継続性が求められます。

現状では、与謝野町内に国登録文化財はありませんので、登録の推進が求められます。

現状では、規制の緩やかな与謝野町登録文化財を適用させた物件がありませんので、登載の推進が求められます。

また、文化財環境保全地区は制度自体がありませんので、条例の再検討が求められます。

**【課題】**

- ・文化財指定等の継続した推進が求められます。
- ・国登録文化財の推進が求められます
- ・与謝野町登録文化財の推進が求められます。
- ・文化財環境保全地区の制定の検討が求められます。
- ・与謝野町文化財保護条例の再検討が求められます。

**保存継承／修理等補助事業** 与謝野町文化財保護条例に則って制定された補助制度の補助対象は、原則的に指定等文化財のみとなっています。毎年数件に対して補助を行っていますが、旧町時代の古い補助制度をそのまま引き継いでいるため、補助上限額が物価の上昇を反映しておらず、補助上限額等の再検討が求められます。

与謝野町の補助制度では無形民俗文化財は記録事業のみを対象としており、物品の更新等は対象外となっています。しかし、地域住民の関心も高い氏神祭りでの民俗芸能の継承のためには道具の更新等への補助の適用の再検討が求められます。なお、活用事業は補助対象外ですので、活用事業への補助制度の検討が求められます。

**【課題】**

- ・毎年補助を実施していますが、補助上限額が物価の上昇を反映していないため、補助上限額等の再検討が求められます。
- ・無形民俗文化財の補助対象では物品の更新等を適用外としているため、再検討が求められます。
- ・活用事業は補助対象外となっているので、活用事業への補助制度の検討が求められます。

**保存継承／伝統的建造物群修理修景補助事業** 重要伝統的建造物群与謝野町加悦伝統的建造物群保存地区内の物件を対象とした補助制度です。毎年数件の補助を行っています。対象物件ごとに補助率と補助上限は規定していますが、離れ屋・塀・石垣などのうち、街道に面した物件の補助上限額等は再検討が求められます。活用事業は補助対象外ですので、活用事業への補助制度の検討が求められます。

**【課題】**

- ・物件ごとの補助率の再検討が求められます。
- ・活用事業は補助対象外ですので、活用事業への補助制度の検討が求められます。

**保存／指定等文化財維持管理事業** 与謝野町が管理する物件に対して行っています。遺跡4件・天然記念物1件です。遺跡は国史跡「日吉ヶ丘・明石墳墓群」のうち、日吉ヶ丘遺跡などで主に草刈りを実施し、見学者への利便性を高めています。また、京都府指定天然記念物「滝のツバキ」に対しては、毎年、樹勢回復事業を実施しています。いずれも継続的な実施が求められています。また、指定等文化財の個別の保存活用計画はほとんどで未作成ですので作成の推進が求められます。

**【課題】**

- ・与謝野町が管理する指定文化財の遺跡の草刈り等の継続実施が求められます。
- ・滝のツバキの樹勢回復事業の継続実施が求められます。
- ・個別の文化財保存活用計画が未作成ですので、作成の推進が求められます。

**保存／防災対策事業** 消防署が主体となり町と連携して、建造物・美術工芸品を対象とした防火査察を毎年実施しており、継続実施が求められます。重要伝統的建造物群保存地区では、立命館大学と連携して防災学習会を毎年開催しており、継続実施が求められます。同地区では防災計画が未整備であり、その作成が求められます。

**【課題】**

- ・指定等文化財のうち、建造物と美術工芸品を対象として毎年実施している防火査察の継続実施が求められます。
- ・重要伝統的建造物群保存地区での防災力の向上が求められます。

**保存／文化財収蔵施設（農村文化保存伝習センター他）** 古文書・民具・出土品などの保管を行っています。古文書では防虫剤の交換や燻蒸を実施しており、継続実施が求められます。ま

た、民具や増え続ける出土品の保管のために、新たな収蔵施設が必要です。

重要文化財大風呂南1号墓出土品や俳句・短歌の短冊や絵画を保管している与謝野町立江山文庫特別収蔵庫での継続した維持管理は不可欠です。

**【課題】**

- ・古文書の防虫剤の交換や燻蒸の継続実施が求められます。
- ・新たな収蔵施設が必要です。
- ・与謝野町立江山文庫特別収蔵庫の維持管理は不可欠です。

**歴史文化施設・文芸施設の公開事業** 旧尾藤家住宅・与謝野町立古墳公園はにわ資料館・与謝野町立三河内郷土資料室など歴史文化施設や加悦椿文化資料館・与謝野町立江山文庫など文芸施設において、それぞれに関する展示公開を実施しています。今後は常設展示のリニューアルなど変化のある展示活用も求められます。また、企画展示も実施しており、継続実施が求められます。また、企画運営において住民との協働が求められます。

これらの施設は点在しているため、拠点性をもった情報発信施設をちりめん街道内に整備することが求められます。

**【課題】**

- ・公開展示の内容の質の向上が求められます。
- ・各施設において展示公開をしていますが、常設展のリニューアル等が求められます。
- ・企画展示の継続実施が求められます。
- ・拠点的情報発信施設をちりめん街道内に整備することが求められます。
- ・効率的な管理運営が求められます。

**歴史文化施設／ちりめん街道（重伝建地区与謝野町加悦伝統的建造物群保存地区）** 戦国時代の地割に近世・近代の町が築かれ、丹後ちりめん織物で発展した当地域の歴史文化の特徴を色濃く残している町並みで、通称「ちりめん街道」と言います。文化庁の補助を受けつつ継続した景観整備が行われています。近年では空き家問題の深刻化が危惧され、その利用促進が求められます。また、銀行・電信電話・電気などの金融インフラ・情報インフラが早くから整備された地域ですが、旧尾藤家住宅と旧加悦町役場庁舎以外の公開施設はなく、近代インフラの歴史性を伝える展示公開施設の整備が求められます。また、織物産地の機織り場を「目・耳・手」で体験・体感できる施設が限られており、これらの整備が求められます。

観光振興に必要なガイドブックの作成や案内標識・道路の整備には、関係部署との今以上の連携協力の深化が求められます。

**【課題】**

- ・修理修景補助事業を継続実施しており、その要望も多く予算の拡充が求められます。
- ・空き家問題が危惧され、空き家の利用促進が求められます。
- ・ちりめん街道のサポーター的組織である「ちりめん街道を守り育てる会」の組織が循環的発展を続けられるような支援が求められます。
- ・近代インフラを伝える展示公開施設の整備が求められます。

- ・機織り場を体験・体感できる施設の整備が求められます。
- ・空き家を利用し、文化文芸施設を集約した情報発信拠点の整備が求められます。
- ・観光振興用のガイドブック・案内標識・道路整備を進めるために、関係部署との連携協力関係の強化が求められます。

**歴史文化施設／旧尾藤家住宅管理運営事業** 重伝建地区「ちりめん街道」内にある大型民家建築を整備して一般公開しています。尾藤家は近世・近代の当地域の動向・発展にとって重要な役割を担ってきた家柄ですので、その歴史を辿ることで当地域の歴史文化の特徴の理解につながります。管理運営は、指定管理者制度で地区内住民を中心とした組織「ちりめん街道を守り育てる会」が行っています。四季的な企画展示や小物づくり企画を実施されています。これらの継続実施が求められます。また、旧尾藤家住宅という文化財指定名称で呼称していますが、ちりめん街道のように親しみ感・メッセージ性のある愛称・通称も要検討です。

**【課題】**

- ・公開展示の内容の質の向上が求められます。
- ・歴史文化情報発信拠点として今以上の活用が求められます。
- ・学校授業との連携において、今以上の利用が求められています。
- ・親しみ感・メッセージ性のある施設の愛称・通称も要検討です。
- ・効率的な管理運営が求められます。

**歴史文化施設／旧加悦町役場庁舎** 京都府指定建造物「旧加悦町役場庁舎」は、平成 31 年度に耐震工事を実施し、観光情報発信拠点として与謝野町観光協会が管理運営をしています。一層の観光情報発信力の向上が求められます。また、旧加悦町役場庁舎という文化財指定名称で呼称していますが、ちりめん街道のように親しみ感・メッセージ性のある愛称・通称も要検討です。

**【課題】**

- ・観光情報発信力の向上が求められます。
- ・親しみ感・メッセージ性のある施設の愛称・通称も要検討です。
- ・効率的な管理運営が求められます。

**歴史文化施設／旧加悦鉄道加悦駅舎** 丹後ちりめん織物産業の富が生み出したローカル鉄道「加悦鉄道」の旧駅舎です。鉄道は昭和 60 年に廃線になりましたが、近代加悦を象徴する鉄道物語の情報発信拠点として整備公開されています。鉄道愛好家向けだけでなく、ちりめん街道との連携性・連動性の強化向上が求められます。管理運営は指定管理者制度で、現在の指定管理者は加悦鐵道保存会となっています。また、旧加悦鉄道加悦駅舎という文化財指定名称で呼称していますが、ちりめん街道のように親しみ感・メッセージ性のある愛称・通称も要検討です。

**【課題】**

- ・公開展示の内容の質の向上が求められます。

- ・近代加悦の鉄道物語の情報発信力の向上が求められます。
- ・ちりめん街道との連携性・連動性の強化向上が求められます。
- ・地域住民との関係性が薄いため、積極的な関係の構築が求められます。
- ・親しみ感・メッセージ性のある施設の愛称・通称も要検討です。
- ・効率的な管理運営が求められます。

**歴史文化施設／いろいろの館** 与謝野町立古墳公園内に移築された江戸時代の草葺き屋根民家建築です。屋根の劣化が進み、修理が必要な状態ですが、通常公開以外の利活用実績（キャンプ・ユニークベニュー）を高めることで修理につなげていきたい物件です。一般公開以外には古墳公園祭りのイベント会場として利用されています。

**【課題】**

- ・通常公開以外の利活用が求められます。

**歴史文化施設／与謝野町立古墳公園管理運営事業** 史跡蛭子山古墳・作山古墳を整備した古代史公園です。当地域が隆盛を誇った原丹後時代を象徴する古墳を整備公開しています。公園内でははにわ資料館で出土品の展示を行っています。地元有志で設立された「古代から未来へつなぐ会合同会社」が指定管理者となって管理運営をしています。平成4年の開園で施設の劣化対策も要検討です。また、ちりめん街道のように親しみ感・メッセージ性のある愛称・通称も要検討です。

**【課題】**

- ・展示の内容の質の向上が求められます。
- ・原丹後王国の情報発信拠点として整備活用が求められます。
- ・学校との連携において、利用促進が求められます。
- ・開かれた場所として、さらなる工夫が求められます。
- ・地域との関係性の深化が求められます。
- ・施設の劣化対策も要検討です。
- ・親しみ感・メッセージ性のある施設の愛称・通称も要検討です。
- ・効率的な管理運営が求められます。

**歴史文化施設／与謝野町立三河内郷土資料室管理運営事業** 昭和30・40年代の暮らしをコンセプトに日常生活道具・田畑道具・織物道具の民具一般の展示を行っています。学校授業での利用にも寄与しています。また、展示スペースに比べて展示品数が多いため、展示内容の再構築が必要な状態です。また、展示の再構築の方向性に関しては、三河内区の特質を勘案し、氏神祭りを中心とした構成と民具の組み合わせも求められます。また、ちりめん街道のように親しみ感・メッセージ性のある愛称・通称も要検討です。

**【課題】**

- ・展示の内容の質の向上が求められます。
- ・展示の再構築が求められます。

- ・地域の特性を活かした氏神祭りの展示が求められます。
- ・地域の特色である機織り場の町並みの展示が求められます。
- ・地域との関係性の深化が求められます。
- ・ちりめん街道と連携した取り組みが求められます。
- ・親しみ感・メッセージ性のある施設の愛称・通称も要検討です。
- ・効率的な管理運営が求められます。

**文芸施設／加悦椿文化資料館管理運営事業** 京都府指定天然記念物「滝のツバキ」に関連して設置され、椿に関する文化史の展示をしています。管理運営は地元の明人夢村に指定管理者として実施されています。毎年春の椿企画展を開催しているほかに椿油採取体験などを行っています。集客が椿の開花時期の4月に集中しますので、この期間以外の在り方が大きな課題です。また、ちりめん街道のように親しみ感・メッセージ性のある愛称・通称も要検討です。

**【課題】**

- ・展示の内容の質の向上が求められます。
- ・開花期間以外の運営の工夫が求められます。
- ・地域との関係性の深化が求められます。
- ・ちりめん街道と連携した取り組みが求められます。
- ・親しみ感・メッセージ性のある施設の愛称・通称も要検討です。
- ・効率的な管理運営が求められます。

**文芸施設／与謝野町立江山文庫管理運営事業** 地域ゆかりの文人与謝蕪村や歌人与謝野鉄幹・晶子にちなんで設置された短歌俳句文学館です。短詩作品や絵画の企画展示をしています。俳句文化振興のため、毎年、与謝野町俳句大会を開催していますが、年々参加者が減少しており、検討課題です。また、ちりめん街道のように親しみ感・メッセージ性のある愛称・通称も要検討です。

**【課題】**

- ・展示の内容の質の向上が求められます。
- ・ちりめん街道と連携した取り組みが求められます。
- ・親しみ感・メッセージ性のある施設の愛称・通称も要検討です。
- ・効率的な管理運営が求められます。

**基礎調査・研究事業** 旧町時代の旧加悦町では平成期に町史編纂事業が実施され、多くの分野で悉皆調査が実施されましたが、旧岩滝町・野田川町ではそのレベルの悉皆調査は未実施のままです。今回の文化財保存活用地域計画作成において一定の基礎調査を実施できたものの、まだまだ基礎調査不足は否めません。今後も継続した基礎調査の実施が求められます。また、研究に関しては、大学など研究機関と連携を深化して進めたいところですが、京都府北部や近隣には文化財系の大学がなく事業化に至っていないケースが多くみられる状態ですので、その連

携事業が求められます。

**【課題】**

- ・基礎調査の継続が求められます。
- ・各分野の専門の研究者や大学など研究機関との連携の深化が求められます。

**情報発信事業** 個別の施設ごとにイベント情報の発信を行っています。また、文化財行政事務局も同様ですが、十分な情報発信が行われてきたとは言えない部分があります。情報発信は、多くの情報媒体を利用し、かつ何度も行っていかねばなりません。そのための経費も必要になることもあります。いかにして既存メディアに取り上げられるか、インターネット系の新しい情報媒体を利用できるか、良い「口コミ」情報を増やすことができるか、など効果的な情報発信に努めなければなりません。丹後・与謝野町の持つ歴史文化性を頭の中で絵を描かくように空想させるようなトータルコーディネートされた情報発信力が求められます。

文化財の現地では、指定文化財を中心に説明板の設置を実施しています。未指定も含め説明板の設置が求められます。また説明板ではQRコードなどを利用した情報伝達も求められます。また、紙媒体のパンフレット・ガイドブックの充実も求められます。

情報の質という点では、文化財行政の基本は学術的な情報が主体でした。これは指定文化財の価値が学術的な普遍的価値に起因するものです。しかし、専門家でない一般の人たちの立場からすると、難しく理解できない・共感できないと思われがちです。ひいては、地域住民にとって、文化財は「自分たちのモノ感が薄い」ということになってしまうことが危惧されます。これでは文化財を将来に伝えていくことの支障にもなりかねません。ユニバーサルデザインの観点からは、どの人にも理解できて、楽しめる文化財行政が求められます。文化財行政担当者は学術的価値を地域住民や子供たちのそれぞれの見方・考えた方に合わせた方法でわかり易く伝える仲介者であることを強く意識する必要があります。

**【課題】**

- ・地域住民にとって、文化財に「自分たちのモノ感」を持ってもらえることが求められます。
- ・丹後・与謝野町の歴史文化性を空想したいと思わせる発信情報の質の向上が求められます。
- ・情報発信は多くの媒体で何度も行うことが求められます。
- ・既存メディアへの情報伝達にいかにして取り上げられるかの工夫が求められます。
- ・紙冊子やQRコードなどを使った情報発信の向上が求められます。

**活動支援事業** 民間主体で文化財の保存・活用を行う事例は少ないのが実情です。その中でも「ちりめん街道」では区内住民を主体として「ちりめん街道を守り育てる会」が組織され、区内での情報共有を行っています。この組織は旧尾藤家住宅の指定管理者でもあります。ただ、この組織は地域住民の生活圏内での活動を基本としているため、外部への情報発信という視点が希薄ではあります。ちりめん街道の保存活用を支援する制度として「与謝野町加悦伝統的建造物群保存地区保存活用団体活動補助金交付制度」があります。補助金だけが活動支援ではありませんが、重伝建地区を対象とした活動以外の活動支援制度がありませんので、文化財の保存・活用活動を行う民間組織に対する補助制度が求められます。また、文化財部署しては

他部署の支援事業の情報を収集して、活動事業者に情報提供する視点が求められます。

**【課題】**

- ・民間による保存活用活動への支援補助制度の制定が求められます。
- ・文化財以外の部署が所管する支援事業の情報提供が求められます。
- ・他部署との今以上の連携が求められます。

**人材育成事業** 文化財の保存・活用に関する人材育成を主眼とした取り組みが不足していますので、今後、検討・実施していくことが強く求められます。

類似した取り組みでは、古墳公園やちりめん街道の案内ガイド員の育成事業が該当します。必要な情報のレクチャーを記憶して説明員となることで他者への伝達者となっています。ガイド員の育成を通じた人材育成を進めていくことが求められます。案内ガイド員の育成は目的が明確であり方向性が定まっており、目的に集中できますが、今の案内ガイド員には自主・自立的に原点資料を調べるレベルに至っている人はごく僅かですので、より多くの人たちにガイド員育成を通じた人材育成を進めていくことが求められます。

学校授業との連携も重要です。今までも学校のニーズに合わせた地域学習の出前授業を行っています。当然、学校は決められたカリキュラムに基づいたものですので、学校のニーズに即した対応は必須ですが、文化財側からも提案できるスタイルを構築していくべきと考えます。

また、各自治区のふるさと学習も重要です。文化財側から積極的に地区に出向く機会を作っていくべきと考えます。

**【課題】**

- ・地域の歴史文化をトータルコーディネートする力を持ち、それを発揮できる人材が求められます。
- ・歴史文化施設の案内ガイド員の育成を通じた人材育成が求められます。
- ・学校側のニーズに対応し、かつ文化財側からも提案できるスタイルの構築が求められます。
- ・自治区の地域学習に対して、文化財側から積極的に出向く機会を作ることが求められます。

**町づくりのそれぞれの担い手との連携** 文化財部署では、文化財を通じて歴史文化のまちづくりに取り組んできました。これは今後もこれが変わることはありません。まちづくりでは関係者が与謝野町総合計画に沿った共通目標に向かって取り組んでいくことが求められ、関係する人や部署・機関など組織との間に今以上につながり・連携を深めることが求められます。特に、地域住民とは事業の企画立案段階から協働することが求められます。

**【課題】**

- ・今まで以上にさまざまな人・組織つながる必要があります。
- ・地域住民とは事業の企画立案段階から協働が求められます。

**地域づくりのための広域連携** 歴史文化性の形成は自治体の枠組みよりも広い範囲での人・モノ・情報の循環的交流によってできたものです。そのため、本地域計画ではその大枠として「丹後国」を想定しています。これがすべての文化財分野に共通するというものではありませんが、

多くの分野においては丹後国域の歴史文化性の中の与謝野町域の歴史文化性になります。これは与謝野町の人たちはもとより、丹後の人たちにとっても、また、丹後国域以外の人たちにとっても地域イメージを持ち易い枠組みと考えています。そのためには、旧丹後国域の自治体である京丹後市・伊根町・与謝野町・宮津市・舞鶴市・福知山市の文化財部署との一層の連携性・連動性の深化が求められます。また、京都府や海の京都 DMO との連携強化も重要です。

#### 【課題】

- ・丹後国の歴史文化性の中の与謝野町という広域の枠組みにとって、京丹後市・伊根町・与謝野町・宮津市・舞鶴市・福知山市の文化財部署や京都府や海の京都 DMO との今以上の連携性・連動性の深化が求められます。

### ■現状と課題

【指摘事項；将来像への大課題がない】

これらの課題を生み出す根本課題は、地域住民が、地域の文化財・歴史文化の価値を自覚的に理解していないこと。地域の文化財・歴史文化への関心不足・認識不足にあると考えられます。また、文化財行政としてそれを示すことが出来ていないとも言えます。さらに言えば、文化財の保存は経済的生産性が低いと認識されていることにあると考えられます。

■**根本課題** 地域住民が、地域の文化財・歴史文化の価値を自覚的に理解していないこと。

この根本課題を細分化した課題は下記のとおりになると考えます。

- 課題 1 文化財の価値を判断するための調査不足
- 課題 2 文化財の価値を共有するための情報発信不足
- 課題 3 文化財の保存・継承への危惧
- 課題 4 文化財の活用不足
- 課題 5 歴史文化を織りなす人材不足と人・組織との連携不足
- 課題 6 丹後国・与謝野町の歴史文化を体感したいと思わせる印象情報の創出不足

## 2 文化財の保存・活用に関する理念・基本方針

### 2-1 保存・活用に関する理念

地域が地域であるためには、社会的個性の根源である文化財・歴史文化が果たす役割は少ないと考えられます。現在、与謝野町は過疎化・少子高齢化という難問に直面しています。人口減少は担い手・維持経費の減少に直結します。これまで地域で守り伝えられてきた文化財の存続が危惧される状態になりつつあります。

このような中、文化財を守ることを通じて地域の歴史文化を守り継承していくために、あらゆる取り組みを進める必要があります。

そこで、文化財を通じた与謝野町の将来像と、文化財の保存・活用の理念を下記のとおりとすることとします。

#### 文化財を通じた与謝野町の将来像

【与謝野町民が郷土愛と誇りを持ち、来訪者も楽しむ丹後与謝野】

#### 文化財の保存・活用の理念

【みんなが、知って・理解して・伝えて・守る、与謝野の文化財】

【人と人が織りなす、丹後与謝野の歴史文化】

## 2-2 保存・活用に関する基本方針

【指摘事項；将来像への大方針がない】

地域住民自身が、文化財に触れ・知る機会を積極的につくり、地域の歴史文化性を生み出す根底にこれらの文化財が位置していることを自覚的に認識してもらう必要があると考えます。また、文化財に関わる人を増やすことと考えます。この地域の文化財の価値を自覚的に認識している人を「文化財知人」と表現したいと思います。地域住民を第一として、それに与謝野町外の関係人口者の「文化財知人」を増やすことが重要と考えます。

■**根本方針** 地域の文化財の価値を自覚的に認識している「文化財知人」を増やす。

この根本方針を細分化した基本方針は下記のとおりになると考えます。

- 基本方針1 文化財を掘り起こす
- 基本方針2 文化財の価値を理解し共有する
- 基本方針3 文化財を保存し、次世代へ継承する
- 基本方針4 文化財を活かして輝かせる
- 基本方針5 文化財で人・組織とつながる
- 基本方針6 丹後国・与謝野町の歴史文化のイメージ感を作り・広め・定着させる

## 3 文化財の保存・活用に関する方針

基本方針に基づく個別方針は下記のとおりです。

### 基本方針1 文化財を掘り起こす

- 個別方針 1 - 1 文化財の総合把握を行う。
- 個別方針 1 - 2 文化財の詳細調査・研究を行う。

## **基本方針 2 文化財の価値を理解し共有する**

- 個別方針 2 - 1 展示施設、情報発信施設、説明設備の充実を図る。
- 個別方針 2 - 2 ユニバーサルデザインに基づき、それぞれの事案に合わせた情報発信を行う。
- 個別方針 2 - 3 学校教育を通じて、子供たちの関心を高める。
- 個別方針 2 - 4 地域住民の関心を高め、学術的価値を共有する。

## **基本方針 3 文化財を保存し、次世代へ継承する**

- 個別方針 3 - 1 既存の指定等文化財の適切な維持管理に取り組む。
- 個別方針 3 - 2 文化財の指定等に取り組む。
- 個別方針 3 - 3 個別の保存活用計画の作成を進める。
- 個別方針 3 - 4 民間の維持管理事業へ支援を行う。
- 個別方針 3 - 5 防災対策に取り組む。

## **基本方針 4 文化財を活かして輝かせる**

- 個別方針 4 - 1 見学しやすい環境を整える。
- 個別方針 4 - 2 見学コースやツアーを企画・提供する。
- 個別方針 4 - 3 民間の活用事業の支援を行う。

## **基本方針 5 文化財で人・組織とつながる**

- 個別方針 5 - 1 情報共有のための場を設定する。
- 個別方針 5 - 2 連携するための核となる組織を立ち上げる。
- 個別方針 5 - 3 自立的に理解し伝える人材の育成に努める。
- 個別方針 5 - 4 さまざまな人・組織がつながる仕組みの設定に努める。

## **基本方針 6 丹後国・与謝野町の歴史文化のイメージ感を作り・広め・定着させる**

- 個別方針 6 - 1 丹後国・与謝野町という言葉を目にしただけで頭の中で絵がイメージされるようにする。
- 個別方針 6 - 2 交流人口・関係人口の創出に努める。

## 4 文化財の保存・活用に関する措置

### 4-1 保存・活用に関する措置の方向性

先述してきましたとおり、与謝野町の文化財を取り巻く現状と課題は、現代のライフスタイルの変化という原因以上に、過疎化・少子高齢化による人口減を原因とした「担い手不足・資金減」にあることは明白です。これによる遠くない将来の社会の大きな変化が文化財の保存と継承に及ぼす影響は計り知れないと考えられます。

今後、文化財の保存と継承の確度を上げていくために、

- ・根本課題 【地域住民が、地域の文化財・歴史文化の価値を自覚的に理解していないこと。】
- ・根本方針 【地域の文化財の価値を自覚的に認識している「文化財知人」を増やす。】

に基づき、

- ・丹後国関連文化財群のイメージ標語 【異界への扉、丹後国「港」】
- ・与謝野町関連文化財群のイメージ標語 【阿蘇海と大江山とに囲まれて、海陸クロスロード】

これらの地域イメージ性を持たせつつ、措置として各事業に取り組んでいきます。

### 4-2 措置

#### ■ 1 既存の各事業

既存の各事業に措置は、下記のとおり進めます。

#### 建造物

- ・未指定物件の価値付けを進めます。
- ・空き家対策を進めます。
- ・修理資金の調達に努めます。
- ・所有者の日常的な防災意識の向上に取り組みます。
- ・整備公開施設のさらなる情報発信力・展示解説力・集客力・利活用案発想力（ユニークベニュー含む）・実行達成力などを推進します。
- ・調査研究を進めます。

#### 美術工芸品（絵画・彫刻・工芸品）

- ・調査研究を進めます。
- ・国重要文化財「木造女神坐像」の安定管理に地元管理者の自立性をはかります。
- ・中世石塔類の歴史的な位置づけを進めます。
- ・指定文化財の石灯籠には保存環境の改善に努めます。
- ・消防署と連携した防火査察を継続し、日常的な防災意識・チェックの継続性を高めます。
- ・災害発生時の搬出シミュレーションの作成試行を進めます。

- ・ 絵画などの美術工芸品の一般公開のための公開施設の整備に努めます。
- ・ 氏神祭りの屋台懸装品の学術的な価値付けを進め、文化財指定を進めます。
- ・ 宮津藩関係石塔などの歴史的な位置づけを進めます。

### 書跡・典籍

- ・ 未指定俳額の学術的な価値付けを進めます。

### 古文書

- ・ 調査研究を進めます。
- ・ 古文書の崩し字が読解できる人材の確保に努めます。

### 歴史資料

- ・ 国指定歴史資料「123号機関車」と与謝野町指定歴史資料「旧加悦鉄道車両群」(10車両)の保存に努めます。
- ・ 地籍図等の学術的な価値付けを進め、文化財指定を進めます。
- ・ 地籍図等の活用を進めます。

### 考古資料

- ・ はにわ資料館の展示手法の検討に努めます。
- ・ 国重要文化財大風呂南1号墓のガラス釦の幅広い公開方法を検討します。
- ・ 出土品の学術的な価値付けを進め、文化財指定を進めます。
- ・ 出土品の保管場所の確保に努めます。

### 無形文化財

- ・ 食文化の調査を進めます。
- ・ 観光・商工業事業者と連携した取り組みを進めます。
- ・ 絹織物手織り職人を無形文化財保持者の選定を検討します。

### 有形民俗文化財

- ・ 北前船交易の船絵馬の情報発進を進め、保存処理とレプリカ作成に努めます。
- ・ 祭り屋台の指定等のための詳細調査を進めます。
- ・ 民具の公開場所と手法の再検討を進めます。
- ・ 民具の保管状況の改善に努めます。

### 無形民俗文化財

- ・ 氏神祭りの民俗芸能の詳細調査を進めます。
- ・ 氏神祭りを継続するための方策を検討します。

- ・祭りの情報発信（施設整備を含む）を進めます。

### 遺跡

- ・開発事業計画情報を早期に入手する体制の構築に努めます。
- ・発掘調査体制の人員整備に努めます。
- ・国史跡指定を目指します。

### 名勝地

- ・「大江山連峰」「阿蘇海」の名勝や景観としての価値付けを検討します。
- ・「大江山連峰」「阿蘇海」を保存するために、景観行政部署・住環境行政部署・農林水産行政部署との連携関係を深めます。

### 天然記念物

- ・生活圏の巨木・里山的森林の保存に努めます。
- ・ジオパーク的な観点での取り組みを進めます。
- ・野田川のサケの遡上を保存するため、住環境行政部署・農林水産行政部署・景観行政部署・水道行政部署・学校教育行政部署とも連携して取り組みます。
- ・動植物の調査に努めます。

### 文化的景観

- ・景観保全のために、景観行政部署・住環境行政部署・農林水産行政部署とも連動した取り組みに努めます。
- ・景観保全のために、住民や開発業者の理解に努めます。
- ・文化的景観基準の明確化に努めます。

### 伝統的建造物群保存地区

- ・修理修景事業を今後も着実に進めます。
- ・修理修景事業の専門職の整備に努めます。
- ・空き家対策を進めます。
- ・所有者の日常的な防災意識の定着・向上のための取り組みを進めます。
- ・防災担当部署との密接な連携関係を構築します。
- ・歴史的町並みの情報発信力・展示解説力・集客力・利活用案発想力（ユニークベニュー含む）・実行達成力などの向上に努めます。
- ・ちりめん街道の国選定イメージ標語「機音響く」の機音の整備に努めます。
- ・ちりめん街道内の電柱や道路などの景観整備に努めます。
- ・ちりめん街道にアクセスする誘導サインの充実に努めます。
- ・ちりめん街道へのアクセス道路の整備に努めます。

## 文化財環境保全地区

- ・文化財観光保全地区制度の設置を検討します。

## その他の文化財

- ・「地名」の文化財的な価値付けに努めます。
- ・「信仰伝承地」「伝説伝承文学地」の文化財的な価値付けに努めます。

## 保存継承／文化財指定制度

- ・新規の文化財指定等を進めます。
- ・国登録文化財の推進を検討します。
- ・与謝野町登録文化財制度の利用を検討します。
- ・文化財環境保全地区の制度の設定を検討します。
- ・与謝野町文化財保護条例の再検討に努めます。

## 保存継承／修理等補助事業

- ・補助制度の上限額の再検討に努めます。
- ・無形民俗文化財の補助対象に物品整備の適用の検討に努めます。
- ・活用事業への補助制度の制定を検討します。

## 保存継承／伝統的建造物群修理修景補助事業

- ・物件ごとの補助率の再検討に努めます。
- ・活用事業への補助制度の制定の検討に努めます。

## 保存／指定等文化財維持管理事業

- ・与謝野町が管理する指定文化財の遺跡の草刈り等を継続実施します。
- ・滝のツバキの樹勢回復事業を継続実施します。
- ・個別の文化財保存活用計画の作成に努めます。

## 保存／防災対策事業

- ・指定等文化財の建造物と美術工芸品防火査察を継続実施します。
- ・重要伝統的建造物群保存地区での防災力の向上に努めます。

## 保存／文化財収蔵施設（農村文化保存伝習センター他）

- ・古文書の防虫剤の交換や燻蒸を継続実施します。
- ・施設統合されて空いた既存施設などを新たな収蔵施設として確保に努めます。
- ・与謝野町立江山文庫特別収蔵庫の維持管理をします。

### **歴史文化施設・文芸施設の公開事業**

- ・公開展示の内容の質の向上に努めます。
- ・常設展の再構築に努めます。
- ・企画展示を継続実施します。
- ・ちりめん街道内への拠点的情報発信施設の整備を検討します。
- ・効率的な管理運営を進めます。

### **歴史文化施設／ちりめん街道（重伝建地区与謝野町加悦伝統的建造物群保存地区）**

- ・修理修景補助事業を継続実施し、予算の拡充に努めます。
- ・空き家の利用促進を進めます。
- ・ちりめん街道のサポーター的組織への支援に努めます。
- ・近代インフラを紹介する展示公開施設の整備を検討します。
- ・機織り場を体験・体感できる施設の整備を検討します。
- ・空き家を利用して文化文芸施設のサテライト・集約施設の整備及び情報発信拠点の整備を検討します。
- ・観光振興用のガイドブック・案内標識・道路整備を推進し、関係部署との連携協力関係の強化を進めます。

### **歴史文化施設／旧尾藤家住宅管理運営事業**

- ・公開展示の内容の質の向上に努めます。
- ・歴史文化情報発信拠点として一層の活用を検討します。
- ・学校授業との連携・利用に努めます。
- ・親しみ感・メッセージ性のある施設の愛称・通称を検討します。
- ・効率的な管理運営を進めます。

### **歴史文化施設／旧加悦町役場庁舎**

- ・観光情報発信力の向上に努めます。
- ・親しみ感・メッセージ性のある施設の愛称・通称を検討します。
- ・効率的な管理運営を進めます。

### **歴史文化施設／旧加悦鉄道加悦駅舎**

- ・公開展示の内容の質の向上に努めます。
- ・近代加悦の鉄道物語の情報発信力の向上に努めます。
- ・ちりめん街道との連携性・連動性の強化向上に努めます。
- ・地域住民との関係性の深化に努めます。
- ・親しみ感・メッセージ性のある施設の愛称・通称を検討します。

- ・効率的な管理運営を進めます。

### **歴史文化施設／いろりの館**

- ・通常公開以外の利活用を検討します。

### **歴史文化施設／与謝野町立古墳公園管理運営事業**

- ・展示の内容の質の向上に努めます。
- ・原丹後王国の情報発信拠点として整備活用を進めます。
- ・学校と連携した利用促進を進めます。
- ・開かれた場所としての工夫を検討します。
- ・サポーター制度などを設置するなどして地域との関係性の深化に努めます。
- ・施設の劣化対策を検討します。
- ・親しみ感・メッセージ性のある施設の愛称・通称を検討します。
- ・効率的な管理運営を進めます。

### **歴史文化施設／与謝野町立三河内郷土資料室管理運営事業**

- ・展示の内容の質の向上に努めます。
- ・展示の再構築を進めます。
- ・地域の特性を活かした氏神祭りの展示を進めます。
- ・地域の特色である機織り場の町並みの展示を進めます。
- ・地域との関係性の深化に努めます。
- ・ちりめん街道と連携した取り組みに努めます。
- ・親しみ感・メッセージ性のある施設の愛称・通称を検討します。
- ・効率的な管理運営を進めます。

### **文芸施設／加悦椿文化資料館管理運営事業**

- ・展示の内容の質の向上に努めます。
- ・開花期間以外の運営の工夫に努めます。
- ・地域との関係性の深化に努めます。
- ・ちりめん街道と連携した取り組みに努めます。
- ・親しみ感・メッセージ性のある施設の愛称・通称を検討します。
- ・効率的な管理運営を進めます。

### **文芸施設／与謝野町立江山文庫管理運営事業**

- ・展示の内容の質の向上に努めます。
- ・ちりめん街道と連携した取り組みを進めます。
- ・親しみ感・メッセージ性のある施設の愛称・通称を検討します。

- ・効率的な管理運営を進めます。

### **基礎調査・研究事業**

- ・基礎調査を継続実施します。
- ・各分野の専門の研究者や大学など研究機関との連携の深化に努めます。

### **情報発信事業**

- ・地域住民が、文化財を「自分たちのモノ」と思えるように努めます。
- ・丹後・与謝野町の歴史文化性を空想させる発信情報の質の向上に努めます。
- ・情報発信を多くの媒体で何度も行うことに努めます。
- ・既存メディアへの情報伝達の工夫に努めます。
- ・紙冊子や QR コードなどを使った情報発信の向上に努めます。

### **活動支援事業**

- ・民間による保存活用活動への支援補助制度の制定を検討します。
- ・文化財以外の部署が所管する支援事業の情報提供を行います。
- ・他部署との今以上の連携性の向上に努めます。

### **人材育成事業**

- ・地域の歴史文化のトータルコーディネート力の向上に努めます。
- ・歴史文化施設の案内ガイド員の育成を通じた人材育成を進めます。
- ・学校側のニーズに対応し、かつ文化財側からも提案するように努めます。
- ・自治区の地域学習に対して、文化財側からも積極的に出向く機会を作っていきます。

### **町づくりのそれぞれの担い手との連携**

- ・今まで以上にさまざまな人・組織つながることに努めます。
- ・地域住民とは事業の企画立案段階からの協働に努めます。

### **地域づくりのための広域連携**

・丹後国の歴史文化性の中の与謝野町という広域の枠組みを進めるために、京丹後市・伊根町・与謝野町・宮津市・舞鶴市・福知山市の文化財部署や京都府や海の京都 DMO との今以上の連携性・連動性の深化を図っていきます。

## **■ 2 文化財説明情報発信力向上事業**

現地説明板の設置推進と説明板に QR コード付加などの整備をしていきます。同時に、QR コードのリンク先の動画・コンテンツの充実をはかります。ドローンを利用するなど広視野でのモノの見せ方・デザイン性の向上をはかります。

## 事業名

文化財現地説明力向上事業

## 事業内容

- ・現地説明板の設置
- ・説明板に QR コード付加整備
- ・QR コードのリンク先の動画・コンテンツの充実

## 財源

文化庁・京都府・与謝野町

## 取組主体

与謝野町文化財部署・与謝野町観光部署・与謝野町観光協会・地域住民有志

## 取組連携

京丹後市・伊根町・宮津市・舞鶴市・福知山市の文化財部署・京都府・海の京都 DMO

## 事業期間

令和4～8年度

### ■ 3 教育・研究機関連携事業

与謝野町立小中学校への学習機会の積極的な協力をしていきます。また、高校魅力化推進事業への積極的な情報提供と協力をしていきます。

福知山公立大学その他大学の研究課題に積極的に協力していきます。

### ■ 4 地区づくり連携事業

自治区関連文化財群の作成をとおして、地区アイデンティティーの構築に対して積極的に連携・協力していきます。

## 事業名

我がむら歴史文化物語づくり事業（仮称）

## 事業内容

各自治区版の関連文化財群の作成を目指し、地区内を歩き、情報・物件を集め、まとめ上げる。

## 財源

与謝野町

## 取組主体

各自治区・地域住民有志・与謝野町文化財部署・与謝野町企画部署

## 事業期間

令和4～8年度

### ■ 5 情報共有企画立案「行政」連携事業

広域行政間で情報共有を行い、連動したテーマ・方向性で事業展開を実施する関係づくり・

組織づくりを進めていきます。第一歩として、京都府北部博物館資料館連絡協議会「両丹ミュージアム協議会」を積極的に活用します。

## ■ 6 情報共有企画立案「有志」連携事業

地域の文化財・歴史文化を「自分事」として認識してもらいためにも、一般地域住民と情報共有を行いつつ、一般住民と協働で文化財事業展開を進めるための機会・場所「与謝野町歴史文化国づくり懇談会」を設けていきます。

### 事業名

与謝野町歴史文化国づくり懇談会事業

### 事業内容

歴史文化を活かした地域づくりを地域住民と一緒に進めるための懇談会・勉強会を実施する。

### 財源

与謝野町

### 取組主体

与謝野町文化財部署・地域住民有志・与謝野町社会教育部署・与謝野町企画部署

### 事業期間

令和4～8年度

## ■ 7 拠点的文化財保存推進活用事業

### ● 7-1

### 事業名

旧尾藤家住宅保存環境整備推進活用事業

### 事業内容

- ・京都府指定文化財「旧尾藤家住宅」の建築調査を実施し、既存の調査・研究を整理した上で、丹後国における歴史的価値付けを行い、より効果的な保存環境の整備を推進します。
- ・丹後国の豪商・大庄屋・名望家の足跡ツアーの開催
- ・丹後国の豪商・大庄屋・名望家シンポジウムの開催
- ・丹後国の豪商・大庄屋・名望家物語・ストーリーの創出

### 財源

文化庁・京都府・与謝野町

### 取組主体

与謝野町文化財部署・与謝野町観光部署・与謝野町観光協会・ちりめん街道を守り育てる会・有志

### 取組連携

京丹後市・伊根町・宮津市・舞鶴市・福知山市の文化財部署・京都府・海の京都 DMO

### 事業期間

保存環境整備：～令和5年度  
ツアー・シンポジウム：令和6・7年度  
物語作成：令和8・9年度

● 7-2

事業名

**地藏山遺跡保存環境整備推進活用事業**

事業内容

- ・ 範囲確認内容調査を実施し、既存の調査・研究を整理した上で、中世丹後加悦谷における歴史的価値付けを行い、より効果的な保存環境の整備を推進します。
- ・ 丹後中世世界ツアーの開催
- ・ 丹後中世シンポジウムの開催
- ・ 丹後中世物語の創出

財源

文化庁・京都府・与謝野町

取組主体

与謝野町文化財部署・与謝野町観光部署・与謝野町観光協会・地藏山遺跡保存会・有志

取組連携

京丹後市・伊根町・宮津市・舞鶴市・福知山市の文化財部署・京都府・海の京都 DMO

事業期間

保存環境整備：～令和5年度  
ツアー・シンポジウム：令和6・7年度  
物語作成：令和8・9年度

**■ 8 ちりめん街道魅力化推進事業**

● 8-1

事業名

**文芸施設情報発信拠点整備推進事業**

事業内容

短詩系文学館の江山文庫や椿文化を紹介する加悦椿文化資料館のサテライトスペースを設置し、ちりめん街道を拠点とした周辺性を高めていきます。

財源

国・京都府・与謝野町

取組主体

与謝野町文化財部署・与謝野町観光部署・与謝野町観光協会・ちりめん街道を守り育てる会・有志

#### 事業期間

令和4～8年度

#### ● 8-2

#### 事業名

##### 丹後ちりめん織り場体感施設整備推進事業

#### 事業内容

丹後ちりめん織物の見学用織り場「オーリバ（仮称）」を整備し、目だけ開く「音」でも織り場を体感し、より深い印象を与えていきます。

合わせて、丹後ちりめん織物産業に関する人・歴史を紹介する場を設けていきます。

#### 財源

国・京都府・与謝野町

#### 取組主体

与謝野町文化財部署・与謝野町観光部署・与謝野町観光協会・ちりめん街道を守り育てる会・与謝野町産業振興部署・与謝野町商工会・有志

#### 事業期間

令和4～8年度

### ■ 9 与謝野氏神祭り文化情報発信拠点整備事業

#### 事業名

##### 与謝野氏神祭り文化情報発信拠点整備事業

#### 事業内容

地域の個性ある氏神祭りを保存・継承するため、三河内区内にある与謝野町立三河内郷土資料室の展示を、三河内曳山祭りを中核とした祭り文化と生活文化を紹介するものへと再構築し、与謝野町の氏神祭り文化を発信します。合わせて、織り場の町並み情報を発信する展示も整備します。

#### 財源

文化庁・京都府・与謝野町

#### 取組主体

与謝野町文化財部署・与謝野町観光部署・与謝野町観光協会・三河内区・どでっさっさ共和国・有志

#### 事業期間

令和4～8年度

### ■ 10 遺跡情報発信拠点整備事業

事業名

原丹後王国情報発信拠点整備事業

事業内容

古墳公園を原丹後王国の情報発信拠点として整備していきます。

財源

国・京都府・与謝野町

取組主体

与謝野町文化財部署・与謝野町観光部署・与謝野町観光協会・古代から未来へつなぐ会  
合同会社・有志

取組連携

京丹後市・伊根町・宮津市・舞鶴市・福知山市の文化財部署・京都府・海の京都 DMO

事業期間

令和4～8年度

**■11 関連文化財群活用事業**

●11-1

事業名

関連文化財群周遊事業

事業内容

- ・体感ツアーの開催
- ・シンポジウムの開催
- ・関連文化財群ガイド情報誌の作成
- ・物語の創出
- ・ガイド員の育成

財源

国・京都府・与謝野町

取組主体

与謝野町文化財部署・与謝野町観光部署・与謝野町観光協会・有志

取組連携

京丹後市・伊根町・宮津市・舞鶴市・福知山市の文化財部署・京都府・海の京都 DMO

事業期間

令和4～8年度

●11-2

事業名

丹後国関連文化財群活用推進連絡会設置

### 事業内容

- ・広域で自治体が連携して丹後国関連文化財群（丹後国歴史文化遺産）を活用するための連絡調整
- ・丹後国歴史文化遺産認定制度の検討

### 財源

各市町

### 取組主体

与謝野町文化財部署・与謝野町観光部署・与謝野町観光協会・古代から未来へつなぐ会合同会社・有志

### 取組連携

京丹後市・伊根町・宮津市・舞鶴市・福知山市の文化財部署・京都府・海の京都 DMO

### 事業期間

令和4～8年度

## **■12 与謝野町文化財保存活用区域活用事業**

### ●12-1

#### 事業名

**与謝野町文化財保存活用区域周遊事業**

#### 事業内容

- ・体感ツアーの開催
- ・シンポジウムの開催
- ・与謝野町歴史文化遺産ガイド情報誌の作成
- ・物語の創出
- ・ガイド員の育成
- ・与謝野町歴史文化遺産認定制度の検討

#### 財源

国・京都府・与謝野町

#### 取組主体

与謝野町文化財部署・与謝野町観光部署・与謝野町観光協会・ちりめん街道を守り育て会・古代から未来へつなぐ会合同会社・京都府・有志

#### 取組連携

京都府・海の京都 DMO

#### 事業期間

令和4～8年度